

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|   | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|---|---|---|------|--------|
| 1 | 「利用者懇談会」の回数を増やして、もっと意見を募ってはどうか。<br>また、テーマも絞ったほうが良い。                       | 懇談会の実施方法については、引き続き検討していきます。   | □    | 光が丘・大泉 |
| 2 | 図書館の会議室や視聴覚室の設置の目的および主な利用内容を聞きたい。<br>また、飲食は可能か。                           | 図書館の視聴覚室・会議室は、図書館サービスに関連のある活動や、館が推奨する読書会や研究会、鑑賞会などに利用することを目的に設置されています。また図書館の事業を実施する会場としても利用しています。<br>室内での食事および飲酒は禁止していますが、お茶などを飲むことは可能です。                         | ◎    | 光が丘    |
| 3 | 図書館協議会を作るべきである。   | 図書館法第14条において「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関」として、公立図書館に図書館協議会を置くことができます。練馬区立図書館では、現在、図書館協議会を設置する予定はありません。懇談会やご意見箱等を通じて、引き続き皆様のご意見をお聞きしていきます。 | —    | 貫井     |
| 4 | 利用者アンケート結果の「満足でない」の詳細理由はどのようなものか。   | 詳細についてはアンケート項目にないため、回答できません。  | —    | 春日町    |
| 5 | 受取窓口での受取については、取り寄せるのに各図書館受取より1日余計にかかる。移送経路が石神井図書館経由だからだが、経路をしない配送はできないのか。 | 現在、各受取窓口でお受け取りになる資料は、一度石神井図書館に集約し、同館で各受取窓口別に仕分け・箱詰め等の作業を行って配送されています。受取窓口巡回と図書館各館巡回は、別の配送経路で運行していますが、これを1つの経路にまとめることは、各館における仕分け作業のスペース上の問題や、配送時間が大幅に増加することから困難です。  | —    | 石神井    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|   | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|---|---|---|------|--------|
| 6 | 改修後の関町図書館の職員体制や運営は現状のままの形か。   | <p>現在、関町図書館には館長を含めて2名の職員を配置し、窓口等の業務は、民間事業者に委託しています。</p> <p>改修後は、民間事業者等が施設の管理・運営を行う指定管理者制度の導入を検討しています。</p> <p>練馬区立図書館では既に7館に指定管理者制度を導入していますが、民間事業者の知恵やノウハウ、創意工夫を活用することで、多様化するニーズに一層効果的かつ効率的に対応し、図書館サービスの更なる充実を図ります。</p>  | □    | 関町     |
| 7 | 平成28年度実施予定の関町図書館改修の設計内容を利用者に示し、利用者の要望を聞く機会を設けてほしい。                              | <p>関町図書館は昭和57年に開館し、施設・設備の老朽化が進んでいることから、平成28年度に改修工事を予定しています。</p> <p>改修工事は、老朽化したエレベーターや空調設備等、建築設備の更新が主な内容となります（建替えではありません）。</p> <p>設計内容について改めてご説明する予定はありませんが、関町図書館にお寄せいただいたご意見やご要望につきまして、可能な範囲で工事内容に活かしていきます。</p>   | □    | 関町     |
| 8 | 関町図書館の改修に合わせ、インターネットが利用できるパソコン席を増やし、光が丘図書館のように利用者が直接データベースにアクセスできるパソコンを設置してほしい。 | <p>パソコン利用席の増設およびオンラインデータベース閲覧端末の設置については、各図書館の利用状況に応じて検討していきます。</p>  | □    | 関町     |
| 9 | 石神井図書館は書架が不足している現状から思うに、なぜ改修時に平屋部分を2階建にしなかったのか。                                 | <p>石神井図書館は、施設の老朽化に伴う大規模改修工事を平成20年度から21年度にかけて実施しました。耐震補強上問題があった3階建ての建物を2階建てに変更し、面積が減少した部分を補うために敷地南西側に増築棟を建設しました。</p> <p>同館は、練馬区の図書館で2番目に床面積が広いこと、建設費用を抑え工事に伴う休館期間を短くするといったことから、増築棟は平屋建てとしました。</p> <p>開架（利用者の方が直接本を選ぶことのできる本棚）の面積は増加していませんが、地下に電動の移動棚を利用した書庫を設置したことで、石神井図書館の図書収蔵冊数は改修前と比較して約1.5倍に増加しています。</p> | —    | 石神井    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方  | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|---|--|------|--------|
| 10 | 指定管理者が管理運営している館の館長に対する指揮命令は、いわゆる偽装請負に当たらないのか。   | 指定管理者が管理する館の館長は、管理業務を総括する責任者であり、館長に対して発注に関わる要求や注文をすることは問題ないと考えます。  | —    | 光が丘    |
| 11 | 指定管理における「現場責任者」と「業務責任者」の違いとは。   |  |      |        |
| 12 | 指定管理者でどういうことをやってどれくらいの成果が出たのか報告を受けて公開すべきではないか。  | 区では、指定管理者制度適用施設に対して、必要なサービス水準と適正な施設管理が確保されているかどうかを、指定管理者から提出された事業報告書や実地調査で確認する「モニタリング」を行っています。<br>また、年に1回、総合モニタリングとして、施設ごとに評価を行い、結果については区ホームページで公表しています。   | ◎    | 光が丘    |
| 13 | 教育要覧の区立図書館施設一覧中の「職員数」の見方について。<br>正規の練馬区職員数や、人数の記載がなく「指定管理者図書館」になっているところについて詳しく教えてほしい。 | (直営館の表記が分かりにくいというご指摘に関して)<br>よりわかりやすい表記となるよう、検討・改善していきます。  | □    | 光が丘    |
| 14 | 指定管理者図書館についても、職員数と司書内数を公表するのが妥当だと思うが、いかがか。  | 指定管理者館については、館によって様々な勤務形態があるため、直営館と同じような人数の捉え方は難しいと考えています。今後、一定の労働時間を用いて人数に換算するなど、指定管理者館における従事者数の表し方について検討していきます。<br>一方、指定管理者館における司書の数については、指定管理者の内部管理に属する事項に当たるため、非公開としております。なお、指定管理者館では、司書資格者を全従事者の5割以上配置するとの条件の下で職員配置が行われています。 | □    | 光が丘    |
| 15 | 要覧について見直すとのことだが、指定管理者の人数まで記載するような変更はあるか。  |  |      |        |
| 16 | 各図書館でどういう事業を重点的に行っているのか。また、どういうところに人員を割いているのかを知りたい。                                   | 各館とも資料提供サービスを基本としながら、地域の特性を把握して青少年向け事業や高齢者向け事業などを実施しています。また、図書館の利用に繋がるような事業の開催を心掛けています。<br>利用者に役立つ資料や情報を提供することを責務としており、利用者の期待や要求に応えられるように、職員配置をしています。  | ◎    | 光が丘    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要   | 図書館の考え方  | 対応状況   | 質問が出た館 |
|----|--|--|--------|--------|
| 17 | 各図書館において年ごとに重視する項目（例えば、障害者向けサービス、子ども向けサービス、児童支援等）を設定しているか。                       | 図書館ビジョンに基づき、各館において年度ごとに重視する取組を定めています。また、各館が子ども読書活動推進計画（第三次）の子どもの発達段階に着目した取組を重視しています。<br>障害者向けサービスは、各館での対面朗読を除き、光が丘図書館で実施しています。   | ◎      | 光が丘    |
| 18 | 南田中図書館では事業を実施するとき、専任の職員を何人かつけていると聞いた。他の図書館でも、専任の職員を設けて、事業（学校支援を含む）を実施しているのか。     | 各図書館では事業ごとに担当者を設け実施しています。<br>また、学校図書館では、学校図書館支援員をはじめ地域の図書館から図書館専門員が、授業に役立つ資料の団体貸出やよみきかせ、ブックトーク、本の探検ラリーなどの学校支援を行っています。  | ◎      | 光が丘    |
| 19 | 練馬区立図書館ビジョンのこれからの図書館サービスの方向性にある「区民や地域との協働」について、これまでの実績を知りたい。                     | 図書館事業への参加として、録音資料の作成、対面朗読、布の絵本の作成などにボランティアとして参加。テーマ展示の実施（年1回）。ボランティアの子ども事業への参加（ブックスタート、おはなし会実施）などがあります。<br>また、視覚障害者への対面朗読ボランティアを志す方を対象とした朗読方法・音訳処理の実技等を学べる講習会を実施しています。<br>区内の大学や施設と連携した事業の実施や、地域文庫等への支援も実施しています。                       | ◎      | 関町     |
| 20 | 汚損・破損した本を直すボランティアがいるので活用したらどうか。また、廃棄するということであれば、地域文庫やボランティア団体等に寄付するなどの方法をとってほしい。 | 図書館に関心を持ち、協力したいと考えている方に、ボランティア（図書館サポーター）として、図書館事業に参加・参画するための環境を整備し、汚破損の資料の修理については、ボランティアに協力を依頼することを検討します。<br>廃棄資料については、年に2回、近隣の保育園・幼稚園・小学校・地域文庫等を対象に児童除籍本頒布会を開催し、多数の資料がリサイクル活用されています。<br>ボランティア団体については、ボランティア・地域福祉推進センターへも呼び掛けをしていきます。 | □<br>◎ | 光が丘    |
| 21 | 練馬区の図書館全体で連携して、効果的な広報を考えればよいと思う。   | 図書館ホームページや図書館だより、メールマガジンなどを活用し、練馬区立図書館全体で連携し効果的な広報を行います。<br>また、情報発信の結果として得られる利用者からの意見などを図書館運営に的確に反映させていきます。  | ◎      | 大泉     |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|---|---|------|--------|
| 22 | 図書館の会議室を使って実施した事業や催しの内容を、他団体に情報提供するなど連携することが出来れば、その後の活動の参考になるし、図書館でやる意味があると思うので、考えてほしい。 | 地域に密着した施設として、図書館の実施事業を含む地域情報、区政情報などを収集・提供し、区の関連部署とも連携し、12館の立地状況に合わせた館運営を行っています。   | ◎    | 光が丘    |
| 23 | 実施事業（イベント）について調べるツールを図書館で提供して欲しい。   | 現在、図書館ホームページや図書館メールマガジン等で図書館のイベント等のお知らせをしています。今後も、地域情報の発信拠点として、地域情報、区政情報などの収集・提供や館内掲示を含めた施設の活用を進めていきます。                             | ◎    | 南大泉    |
| 24 | 出産後、仕事に復帰したのであまり利用できなくなり、いつイベントがあるのかわからなくなった。おはなし会やイベント情報をメールでいただけると参加しやすい。             | 「練馬区立図書館メールマガジン」で、図書館からのお知らせ、各館実施のイベント案内などを月1回配信しています。ぜひ、ご登録いただきイベント情報などをご覧ください。<br>また、図書館ホームページに、各館のおはなし会などのリンクが貼ってありますので、ご活用ください。 | ◎    | 南大泉分室  |
| 25 | 図書の貸出期間が3週間から2週間に変わり、高齢者の私は読み切れなくてつらい。  | 練馬区が23区内で予約数が最も多いことから、予約資料の待ち時間を短縮し、図書資料をより多くの方に利用していただくことを目的として、平成26年10月から貸出期間を2週間に変更しました。予約の入っていない資料は1回の延長が可能ですのでご活用ください。         | —    | 小竹     |
| 26 | 予約本の取り置き期間について1週間では短いので、10日位にしてほしい。   | 資料の効率的利用の観点から、予約資料確保の通知を差し上げてから、1週間の取り置き期間としています。他に予約している方のいない資料については、取り置き期間を1週間延長できますのでご利用ください。                                    | —    | 石神井    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方  | 対応状況   | 質問が出た館 |
|----|---|--|--------|--------|
| 27 | 資料の種類や利用目的によって貸出期間に差をつけてほしい。2週間では研究時に不足することがある。(例えば雑誌は1週間、専門書は3週間にする。または、貸出期間の延長を1回だけではなく複数回できるようにするなど) | 貸出件数・所蔵数が多く、運営上、図書館資料の種類・貸出目的や予約件数等で貸出期間に差をつけることは困難です。   | —      | 石神井    |
| 28 | 図書館関係の話題として、よく開館時間延長が挙げられるが、実際に開館時間を延長して延長した時間に見合う利用はあるのか。  | 駅に近い貫井図書館と春日町図書館は、平成24年4月から閉館時間を午後9時まで延長しました。<br>午後8時から9時までの時間帯では、2館あわせて月間約1,000人を超える方が資料を借りに来館します。      | ◎      | 練馬     |
| 29 | 現在、閉館時間が遅い図書館もあるが、全館遅くできないのか。勤め人などは助かると思う。  | 駅に近く遅い時間の利用もある貫井図書館と春日町図書館は、午後9時まで開館しております。なお、今のところその他の図書館での開館時間変更の予定はありませんが、利用者のニーズ等を勘案しながら検討していきます。    | □      | 石神井    |
| 30 | 閉館直前の利用者数が少なければ、開館時間を1時間少なくしてはどうか。  | 閉館時間前の時間帯にも一定の利用者がいらっしゃるため、今のところ開館時間を短くする予定はありません。   | —      | 春日町    |
| 31 | 利用者からの図書館への資料購入要望にどのような基準で対応しているのか。ベストセラーのように要望が多いものについては扱いも異なるのか。                                      | 所蔵のない資料への予約は、練馬区立図書館資料収集方針に基づき購入の可否を決定し、購入に至らなかったものは、他の自治体からの貸借によって提供します。予約多数となる資料は、おおむね各館1～3点所蔵しています。   | ◎      | 練馬・関町  |
| 32 | 図書館の所蔵数だが、練馬区で115万冊ほどあると思うが、これは複本も含めての数字なのか。<br>また、総数だけではなく、練馬区として何点ほどの本の所蔵があるのかというデータもあると良い。           | 教育要覧等でお示ししている所蔵数は、複本も含めた数値です。書誌情報をもとに算出した総タイトル数は、約75万件です。<br>今後、総タイトル数等、図書館利用の状況を把握できる統計データの公表を検討していきます。 | ◎<br>□ | 光が丘    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|---|---|------|--------|
| 33 | 日本の場合、年間に約8万点ぐらい出版物が発行されている。現在、練馬区に115万冊あるということだが、各館に1冊ずつあるとしたら、点数で約10万点ぐらいとなる。1年間に日本で発行される点数は約8万点なので、2年で満杯の状態になってしまう。そこが図書館の問題と思うので、その辺は考慮してほしい。 | 全ての資料を所蔵することはできませんが、適切な選書に努めながら、練馬区立図書館として「最後の一冊」は原則として保存するなど、総所蔵タイトル数の増加に努めます。   | ○    | 光が丘    |
| 34 | 開架するのに限りがあるのは理解しているが、それにしても児童書は閉架図書にすごく多いと感じる。閉架書庫に置く基準を教えてください。  | <p>閉架書庫に置く基準として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料保存のため</li> <li>①区内に一冊しか所蔵のない資料で、貸出は少ないが、図書館として保存すべき資料。</li> <li>②装丁などが劣化しているもの。</li> <li>③多くの人に長く読み継がれているが、複数冊所蔵しているもの。</li> </ul> <p>・開架書架を有効に利用するため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①季節や行事に応じて、閉架資料と開架資料の入れ替えを行っている。</li> <li>②夏休み期間等、多く貸出がみられる場合、閉架から開架へ移動する。</li> <li>③毎月のテーマ展示の資料は、開架資料から展示している。</li> <li>④調べ学習のために利用の多い資料は、閉架に複本を準備している。</li> </ul> <p>以上のことから、必要に応じて開架資料と閉架資料のメンテナンスを行って利用いただくためには、閉架書架に資料数を確保する必要があると考えます。</p> | ◎    | 光が丘    |
| 35 | (児童書で) 閉架に行くのではなく、1冊もなくなるということがある。絶版になることもあると思うが、非常に多いと感じる。どの程度で廃棄するのかを知りたい。  | <p>汚破損が著しく、修復が不可能なものを廃棄しています。</p> <p>また、所蔵後3年以上経過し、利用が少ないものも対象ですが「最後の一冊」は原則、保存しています。</p>  | ◎    | 光が丘    |
| 36 | 「最後の一冊」でも資料の状況によっては除籍になるような話を聞いた。児童書は、どの出版社もよほどのことがない限り絶版というのは意外と少ないので、廃棄したら代替すべき。また、絶版本で買えないということもあるかもしれないが、中古本で程度のいいものを手に入れる等の対策はできないか。         | <p>保存すべき資料の要件を満たす資料については、絶版になっていないか、確認の上で除籍し買い替えをしています。</p> <p>絶版の場合で汚破損が著しく、使用に耐えない場合は、都立図書館・区内図書館での蔵書を確認し、なおかつ相互貸借が可能かどうかを調査した上で廃棄しています。</p>  | ◎    | 光が丘    |
| 37 | 傷んでしまった本をデジタル化して保存してほしい。  | 平成28年度から貴重な地域資料を優先し、デジタル化していきます。  | ○    | 光が丘    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要  | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|---|---|------|--------|
| 38 | 本のデジタル化には反対である。データ化したら紙の本は捨ててしまえというのではなく、どんなにデジタル化を進めたとしても、紙の本は残さなければならない。注意してもらいたい。                                  | 図書館がデジタル化を進める資料は、区が発行したものなどに限られます。一方で、酸性紙を用いた本は劣化が進んでおり、デジタル資料と紙の本の特性に配慮しながら保存していきます。   | ○    | 光が丘    |
| 39 | よく動く児童本の複本は、ほとんど閉架にあり、書棚から無くなってしまふ。わざわざ閉架から持ってこなくてはいけないということが非常に多い。書架に1点ずつしか出していないからだと思う。無くなったらすぐ閉架から補充するなど、対応はできないか。 | 利用の多い本の補充については、日頃から意識して複本を開架へ補充するよう心掛けていますが、一層の配慮に努めます。   | ○    | 光が丘    |
| 40 | 複本があるものを借りられたらすぐに補充ができるようなシステムはないか。   | システムでの対応は困難ですが、職員が季節や利用動向を考慮し、閉架資料を開架に移動するよう努めます。   | ○    | 光が丘    |
| 41 | (児童書で)一度閉架になった本をまた開架に戻すという実績は、年間どの程度あるのか。   | 統計をとっていないため、正確な冊数は不明です。<br>開架書架を有効活用するために、常に資料の入れ替えを行っています。特に夏休みなどは、開架へ多く移動しています。   | ◎    | 光が丘    |
| 42 | 以前、テーマ展示でゼロの本の展示というのをやっていたと思うが、すごくいい企画だったのでまたやってほしい。<br>私たちがいろんな本に出会える機会をつくってもらえたらと思う。                                | 当該企画や年末年始に実施している「本の福袋」など、さまざまな本に触れる企画を実施します。  | ◎    | 光が丘    |
| 43 | テーマ展示で並べた場合、複本があれば、複本から貸し出すという考え方はできないか。閉架の本を複本として回していくようにすれば、展示の本はいつでも見られる。  | 毎月のテーマ展示については、展示資料が不足しないように相当数の複本を含む資料数を準備しています。複本がある場合には、全て展示用とはせず、通常の絵本書架に必ず1、2冊所蔵が残るように調整しています。展示期間中は、随時展示資料を補充し、展示資料の冊数が少なくならないように努めています。 | ◎    | 光が丘    |
| 44 | 本を貸し出したときに、「閉架にあるから補充してください」というレシートが出るようなシステムをつくれれば、開架に本がなくなるのを防げるのではないか。   | システム改修を伴うため、次期システム更新時の参考とさせていただきます。   | □    | 光が丘    |



図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要   | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|--|---|------|--------|
| 45 | 複本があるものは、赤い丸印のようなシールを張りつけておけば、わかりやすくして良いのではないか。                  | ご意見として承ります。   | □    | 光が丘    |
| 46 | 絶版等で見つからないような本は、図書館だよりやホームページで譲ってくれるよう呼びかけてみてはどうか。               | 入手困難な資料は、他自治体の図書館等から相互貸借して提供しています。寄贈資料はありがたくお受けしていますが、特定資料について図書館が寄贈を呼びかけるのは困難です。   | —    | 光が丘    |
| 47 | 練馬区立図書館は、制限付書架を持っているのか。  | 持っていません。制限付書架の必要性は検討していきます。   | □    | 光が丘    |
| 48 | 「絶歌」は練馬区立図書館ではどう扱っているのか。購入しているか、開架にしているか、閲覧制限はあるか。利用者からの意見はあったか。 | 3冊（現在は4冊）購入して開架にしています。閲覧制限はなく他の図書と同様に予約・貸出しができます。利用者から、購入・開架取扱いに対するご意見がありました。   | ◎    | 練馬     |
| 49 | 元少年Aの手記を図書館で購入するか、しないかについて、区としてどのように考えて判断したのか。                   | 発売日時点で多数の予約があり、頒布差し止めの司法判断等がなかったため、一般の資料として購入し、貸出すこととしました。  | ◎    | 関町     |
| 50 | 元少年Aの手記を図書館で購入するかどうか決定する際に、図書資料等提供委員会を開催しなかったことには問題がある。          | 練馬区立図書館資料提供等検討委員会 は、図書館が管理する資料が出版禁止仮処分命令を受けた場合や名誉棄損で提訴された場合等に、資料の所蔵や利用について検討するために設置するものです。当該資料はこれらの事由に該当しないため、同委員会は開催せず、一般の資料と同様に所蔵し貸出すこととしました。 | ◎    | 光が丘・関町 |
| 51 | 春日町図書館の資料における光が丘と春日町での選書の割合について。                                 | 春日町図書館が購入する図書資料は、約6割が光が丘図書館による選書、約4割が春日町図書館による選書候補を、光が丘図書館が審査し購入しています。  | ◎    | 春日町    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要   | 図書館の考え方   | 対応状況   | 質問が出た館 |
|----|--|---|--------|--------|
| 52 | 図書等についての様々な相談に応えられる窓口があればよい。どのような図書館を作っていくかに関わることだが、練馬には中央図書館がないことが問題である。                          | 各図書館において、読書相談（レファレンス）を受け付けています。光が丘図書館は中央館的機能を有する図書館として、練馬区立図書館全館に係る事務を所管しています。  | □      | 石神井    |
| 53 | 図書館サービスの中の障害者サービスや子どもの読書活動等の取組について聞きたい。  | 障害者サービスの取組は、録音図書等の作成、対面朗読、外出困難利用者への資料郵送、手話付きお話会の実施等を行っています。<br>また、子どもの読書活動等の取組については、子ども読書活動推進計画（第三次）や図書館ビジョンに基づき取り組んでいます。 | ◎      | 光が丘    |
| 54 | （障害者以外で）怪我をした人や高齢者など、来館が困難な人を対象としたサービスを考えてはどうか。（郵送サービスなど）  | 区内在住で、肢体不自由１・２級、内部障害１～３級、要介護５のいずれかの方を対象に、図書館資料の郵送サービスを実施しています。現在、サービス対象者の拡大を検討しています。                                      | ◎<br>○ | 大泉     |
| 55 | 障害者手帳をもらうまでではないが、目を悪くして本が読めない状態になった。音訳資料を障害者手帳がないと借りられないのはなぜか。手帳がなくても借りられるようにしてほしい。                | 障害者差別解消法の施行および改正著作権法を踏まえ、視覚障害者向け資料の利用対象を「視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者」に拡大していきます。利用登録の要件、確認方法や資料の検索方法・提供方法について検討しています。        | ○      | 貫井     |
| 56 | 視覚障害だけでなく、読書障害の人もある。特別な手続きをしなくても、（マルチメディア）デージーなどのサービスができるようにしてほしい。平等な情報へのアクセスの保障と、差別解消法の施行もあるのだから。 |   |        |        |
| 57 | 貸出期日の書かれた紙をなくしてしまうことがあるので、他市のように利用カードに期日が表示されるようにしてほしい。  | 現行の図書館システムでは対応できませんが、次期システム更新時の参考とさせていただきます。  | □      | 関町     |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要   | 図書館の考え方  | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|--|--|------|--------|
| 58 | 図書館の利用者は区民の三分の一度だ。もっと真剣に利用者増に取り組むべきだ。  | 練馬区立図書館ビジョンの各種施策に取り組むことにより、ビジョンの基本理念「情報拠点として区民に役立ち頼りにされ愛される図書館」を実現し、より多くの区民に利用されるよう努めます。   | ○    | 大泉     |
| 59 | 子育て中のお母さんに自由に本を選んでもらえるように、図書館で託児保育や、一時保育みたいなものはできないか。また、そのような要望はないか。                         | 行事等の開催時は、一時預かりの利用を参加申し込み時に募っていますが、恒常的に館内で一時預かりを行うことは困難です。<br>今後は、月に一度でもそのような日をつけるなど、子育て中の保護者を支援する取組を検討していきます。  | □    | 光が丘    |
| 60 | 学校支援という活動をしていることは知らなかった。学校へ行けない子どもが増えている。図書室・図書館なら行けるといふ子どもがいるので、そういった子どもの居場所として、ぜひ充実させてほしい。 | 学校支援として区立図書館から、ブックトークやおはなし会、本の探検ラリー、図書館見学などの支援を行っております。<br>今後も学校図書館の読書環境の整備、読書指導の充実など学校図書館の機能強化を図っていきます。<br>また、図書館では、子どもたちが居心地良く落ち着ける環境や、職員の雰囲気づくりに努め、悩みある子どもたちの居場所として来館を促していきたいと考えています。 | □    | 貫井     |
| 61 | 学校支援員の連絡会のようなものを開催し、情報交換したい。<br>また、各学校の活動内容を、情報提供してほしい。                                      | 学校図書館支援員は、各指定管理者館において定期的にミーティングを開催するなどし、情報交換や研修等を行っています。<br>各学校の活動内容は、各館の図書館だより等で学校支援の状況をお知らせしています。  | ◎    | 光が丘    |
| 62 | 学校図書館に、指定管理館から支援員が派遣されているが、頻繁に人が変わることがある。本来であれば何年か同じ人に継続してやってほしいと思っている。そういうことが起きないような方策はあるか。 | みどりの風吹くまちビジョンの戦略計画4「3 学校の教育環境の整備」の「学校図書館の機能強化」に基づき、学校図書館支援員等の配置と、継続して支援できる体制づくりについて検討します。  | □    | 光が丘    |

図書館利用者と館長との懇談会 ～各館で出た図書館全体関連案件一覧～

- ◎すでに対応している項目  
 ○早急に対応を行う項目  
 □施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目  
 —対応が困難な項目

|    | 利用者からの意見・要望の概要   | 図書館の考え方   | 対応状況 | 質問が出た館 |
|----|--|---|------|--------|
| 63 | 練馬区立図書館ビジョンに、学校の教員の支援を行っていくことが挙げられているが、具体的にどういったことができるのか。  | 図書館は読書指導のノウハウを持っていることから、学校や関係部署と連携して研修会等を実施します。具体的な方法は検討中です。  | □    | 練馬     |
| 64 | ブックスタートは4か月児健診に対応する子どもの数がまずあって、その子どもたちのうちの何人に渡せたかというのが実績になるのでは。<br>ただ数を出せばいいということではなくて、意味のある数を出した資料をこれから提示してほしい。 | 4か月児健診時に、ブックスタートの案内と絵本引換券をお配りしています。4か月児健診の受診率は、平均で98%程度です。<br>絵本の配付冊数は、26年度は4,874セット（2冊組）で、参加率は、75.8%です。この数字についてはブックスタートの取組をご理解いただいた結果の数と受け止めています。<br>ブックスタートの理念に基づいた開催を、今後も心掛けていきます。 | ◎    | 光が丘    |